NEWS RELEASE

SEIBU
西武鉄道株式会社

第 12-014 号
2012 年 5 月 15 日

２０１２年度　鉄道事業設備投資計画
安全対策、サービス向上、環境対策、輸送力増強などに 190 億円

・東急東横線および横浜高速みなとみらい線との相互直通運転を開始します。
・桜台（新桜台）～石神井公園間の高架複々線化が完成します。また、石神井公園～大泉学園間の高架化工事を引き続き進めます。
・中井～野方駅間、東村山駅付近などの連続立体交差化を推進します。
・所沢駅、久米川駅で駅舎の改良・バリアフリー化工事を進めます。
・「Smile Train」30000 系を 30 両新造します。
・全駅のトイレに温水洗浄便座を設置します。

西武鉄道株式会社(本社:埼玉県所沢市、社長:若林　久)では、より安全で快適なサービスを提供し、人にやさしい鉄道を目指しております。

2012 年度は総額 190 億円を投じ、安全対策、サービス向上、環境対策、輸送力増強などの鉄道事業設備投資を行います。

《今年度の主な鉄道事業における設備投資の概要》

○　安全対策

鉄道事業では安全を最重要課題としてとらえており、輸送の安全確保のため、自動列車停止装置(ATS)更新、高架橋耐震補強や法面の改良、変電所機器更新、連続立体交差事業の推進（中井～野方駅間、東村山駅付近）などの安全対策を中心に投資を行います。

○　サービス向上

2012 年度中に、池袋線「飯能」駅から東京メトロ副都心線・東急東横線を経由し、横浜高速鉄道みなとみらい線「元町・中華街」駅までの相互直通電車の運転を開始します。このため、保安設備や車両改修などの工事を進めます。

駅の改良については、所沢駅の駅舎改良工事を引き続き進めます。2012 年 6 月からは、駅ナカ店舗が順次オープンします。2012 年秋頃には、新駅舎と東口を結ぶ自由通路が完成し、2013 年春には新駅舎と南口を結ぶ連絡通路が完成し、すべての工事が完了します。また、久米川駅ではエレベーター新設などのバリアフリー化工事を実施するほか、全駅のトイレに温水洗浄便座を設置します。

車両更新では新型通勤車両「Smile Train」 30000 系を 30 両（8 両 3 編成および 2 両 3 編成）新造します。また、東京メトロ有楽町線・副都心線に乗り入れる 6000 系車両には、液晶の車内情報配信装置の設置を引き続き進めます。

○　環境対策

新しい駅コンコースを中心に、節電やCO_2排出量削減のためにＬＥＤ照明の導入を進めます。また、車両用空調装置の更新において、地球温暖化に対する影響が少ない代替フロンを使用したクーラーへの置き換えを引き続き進めます。

○　輸送力増強

池袋線・桜台（新桜台）～石神井公園間の高架複々線化事業のうち、石神井公園駅までの複々線化については、今年度完成します。なお、石神井公園～大泉学園駅間については、引き続き高架化工事を進めていきます。

（詳細につきましては【別紙】のとおりです。）

【別紙】

１．安全対策

鉄道事業では、安全の確保を経営の最重要課題としてとらえています。鉄道事業者の責任として、自動列車停止装置（ATS）更新、高架橋耐震補強や法面改良、変電所機器の更新や送電線の取替、連続立体交差化などの安全対策投資に重点をおきます。

○　自動列車停止装置（ATS）更新

現在使用している自動列車停止装置（ATS）の更新を引き続き行い、さらなる安全性の向上を目指します。

○　高架橋耐震補強

高架橋の健全度・耐震性能を高めるため、補強工事を進めています。2012 年度は、池袋線の東飯能～高麗間で工事を行います。

○　法面（のりめん）の改良

列車運行の安全確保のため、線路脇の法面を改良することによって、土砂崩壊を防止します。2012 年度は、西武秩父線の芦ヶ久保駅付近などで工事を行います。

○　変電所の機器更新および送電線取替

供給された電力を安定的に電車や鉄道施設に送るため、当社保有の老朽化した変電所機器を順次更新しています。2012 年度は、周辺環境に調和するデザインとした池袋変電所の更新工事を進めるほか、山口変電所の機器更新、山口変電所～所沢変電所間の送電線取替も行います。

○　連続立体交差事業の推進

（１）中井～野方駅間

2008 年 5 月に東京都より新規着工準備採択を受け、2011 年 8 月に都市計画決定されました。引き続き事業化に向けて、関係機関との協議を進めていきます。

なお、この事業が完成すると 7 箇所の踏切がなくなる予定です。

（２）東村山駅付近

2009 年 4 月に東京都より新規着工準備採択を受け、都市計画決定に向けた手続きを進めています。

なお、この事業が完成すると 5 箇所の踏切がなくなる予定です。

２．サービス向上

お客さまに快適にご利用いただける、人にやさしい鉄道をめざして、2012 年度は、相互直通運転区間の拡大のほか、駅舎の建替え・リニューアル、車両新造など、サービス向上の設備投資を積極的に進めます。

駅の改良については、所沢駅、椎名町駅、久米川駅の 3 駅で実施します。所沢駅はショップエリアを拡充するなど、お客さまのニーズに合った快適なサービスを提供できる、明るく環境にやさしい駅を目指します。

車両更新では新型通勤車両「Smile Train」 30000 系を 30 両新造するほか、飯能～元町・中華街の直通運転電車に使用する 6000 系車両には、液晶の車内情報配信装置の設置を引き続き進めてまいります。

□　相互直通運転区間の拡大

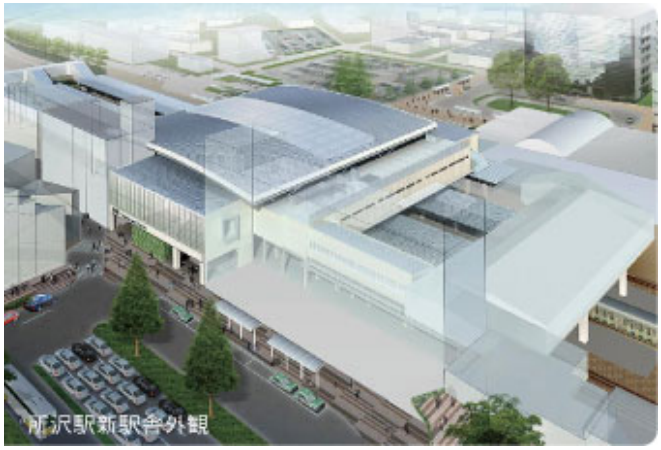
2012 年度中には、池袋線飯能駅から東京メトロ副都心線・東急東横線を経由し、・横浜高速鉄道みなとみらい線元町・中華街駅間の相互直通電車の運転を開始します。これにより、乗換えの不便性が解消されるほか、所要時間の短縮など、当社線と横浜方面との利便性が飛躍的に向上します。このため、保安設備や車両改修などの工事を引き続き進めます。

□　駅舎の改良

○　所沢駅

池袋線と新宿線のターミナル駅として一日約 21 万人のお客さまにご利用いただいている所沢駅の建替工事を、2010 年 3 月より着手しました。ホーム中央の線路上空に新しい駅舎をつくり、工事完成時には、現在 2 つある改札を 1 つに統合し、各ホームおよび西口・東口にそれぞれエレベーター・エスカレーターを設置します。屋根にはテント幕を用いて自然光を取り入れ、駅コンコース・自由通路には多彩な店舗を設置します。また、キッズトイレや授乳室等、子育てに便利な施設も整備します。

新しい駅舎は、2012 年 3 月より一部使用を開始しました。6 月からは、駅ナカ店舗が順次オープンし、ショップエリアの拡充を図ります。2012 年秋頃には、新駅舎と東口を結ぶ自由通路が完成し、2013 年春には新駅舎と南口を結ぶ連絡通路、および駅ナカ店舗の屋上にいこいのスペース「屋上庭園」が完成し、すべての工事が完了します。



○　椎名町駅

駅舎の橋上化を行い、南北自由通路・エレベーター4 基・エスカレーター5 基および多機能トイレなどを設置しバリアフリー化を図りました。今後、北口の駅前広場の整備とエスカレーター1 基を新設し、さらに、駅前の歩行者広場などの整備を行い、2012 年度に完成予定です。なお、この事業は国および豊島区と共同で実施する、駅・まち一体改善事業により行っています。

また、椎名町駅の工事完了により、10 両で運行している通過電車を緊急時に停車させる設備が椎名町駅～桜台駅の各駅に全て整うことになり、池袋線の緊急時の対応力が向上します。

□　駅設備のリニューアル等

○　久米川駅

国および東村山市から補助を受け、跨線橋にエレベーターを 2 基設置し、バリアフリー化を図ります。また、南口のトイレリニューアルのほか、お客さまご案内用オープンカウンターの新設、券売機パネル傾斜化と傾斜型運賃表の新設を合わせて実施し、サービスの向上を図ります。

□　駅のバリアフリー化　など

整備施設	2012 年度整備駅
エレベーターの設置	所沢（1 基）、久米川（2 基）
エスカレーターの設置	所沢（10 基）、椎名町（1 基）
多機能トイレの整備	所沢、入曽
お客さまご案内用オープンカウンターの整備	久米川

○　トイレリニューアル

全駅のトイレに温水洗浄便座を設置します。また、老朽化したトイレを改修して、サービスの向上を図ります。今年度は、所沢、久米川、入曽、本川越、西武球場前のトイレを改修します。

□　車両関係

○　30000 系通勤車両を新造

「Smile Train～人にやさしく、みんなの笑顔をつくりだす車両～」をコンセプトに設計した 30000 系通勤車両の新造を、老朽車両の代替として進めています。これまでに 14 編成 94 両を新造しました。今年度は 30 両（8 両 3 編成および 2 両 3 編成）を新造する予定です。

○　6000 系車両情報配信装置設置

池袋線飯能と元町・中華街（横浜高速鉄道みなとみらい線）間で予定している、相互直通運転電車に使用する 6000 系車両のドア上に、液晶の車内情報配信装置「スマイルビジョン」を 2 画面設置し、旅客情報案内や動画広告を表示するなど、お客さまへさまざまな情報を提供します。今年度は 3 編成に設置する予定です。

３．環境対策

省エネルギー化や騒音・振動の軽減などの環境対策に従来から取り組んでおりますが、今後も環境対策を推進するため、駅コンコースのＬＥＤ照明の導入や車両用空調装置の更新を進めます。

○　駅コンコースのＬＥＤ照明化

ＬＥＤ照明は消費電力が低く、CO_2排出量削減の効果が期待できます。

石神井公園駅や所沢駅では、新しいコンコースにＬＥＤ照明を導入しています。今年度は、飯能駅のコンコースにもＬＥＤ照明を採用します。

○　車両用空調装置の更新

現在のクーラー冷媒として使用しているフロンがオゾン層を破壊するため、オゾン層を破壊せず、地球温暖化に対する影響が少ない代替フロンを使用したクーラーに置き換えています。今年度は 112 台の取り替えを行います。

４．輸送力増強

○　石神井公園駅付近高架複々線化工事

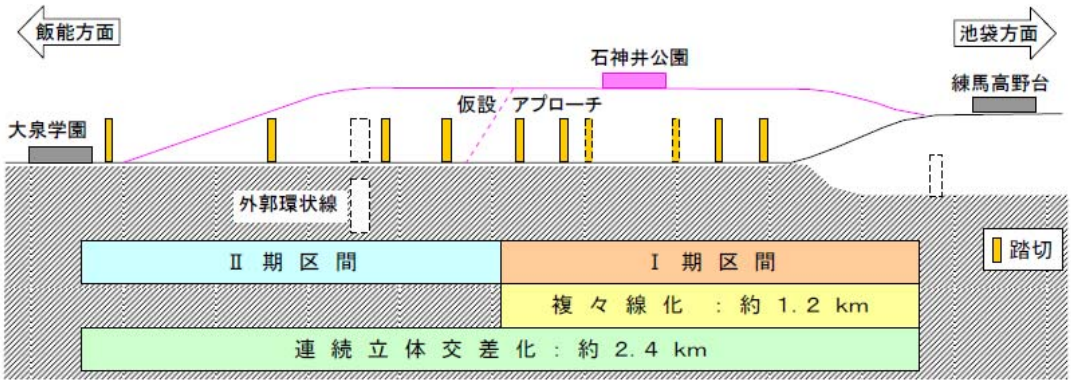
池袋線の高架複々線化工事については、1971 年の都市計画決定以来、東京都、練馬区などと協力して工事を進め、2003 年 3 月に桜台（新桜台）～練馬高野台間が完成しました。

石神井公園駅付近については、2003 年 4 月、国から連続立体交差事業の新規着工の採択を受け、2005 年 6 月、大泉学園駅付近まで高架化を延伸する都市計画が決定されました。その後、関係機関との手続きを進め、2007 年 8 月に着工しました。

練馬高野台～石神井公園間（Ⅰ期区間・1.2ｋｍ）では、2010 年 2 月に上り線、2011 年 4 月に下り線を高架化し、6 箇所の踏切がなくなりました。引き続き、複々線部の工事を進め、2012 年度中に完成します。複々線化が完成すると、石神井公園駅においてホーム 2 面、線路 4 線化され、急行電車と各駅停車が同じホームで乗り換えられるようになり、お客さまの利便性が向上します。

石神井公園～大泉学園間（Ⅱ期区間・1.2㎞）については 2011 年度に着手し、早期完成を目指して工事を進めます。この区間の高架化により、さらに 3 箇所の踏切がなくなります。

この工事により、複々線化による輸送サービスの向上に加えて、合計 9 箇所の踏切がなくなり、踏切による事故や交通渋滞が解消されるとともに、鉄道により分断されていた市街地の一体化が図られるなど、安全で快適なまちづくりにも大きく寄与します。



以　上